

## 市の公共工事への影響及び対応

### ■ 主な価格高騰等の内容《 R4.3 ⇒ R5.4との比較》

- ・ 主な資材費（鉄筋:7%増、生コン:36%増、石膏ボード:25%増、電線:7%増、設備VP管:7%増）
- ・ 労務費全体 5%増（大工:6.5%増、普通作業員:5.8%増、設備機械工:7.0%増、電工:7.1%増）

### ■ 契約済工事の対応

- ・ 公示価格の対応：資材価格の変動が生じて受注者より変更請求や協議があった場合は  
「建設工事請負契約約款第26条(スライド条項)」に基づき適切に対応する

### ■ 工期への影響

- ・ 適切な工期設定 現在の社会情勢により資材納期等の影響が見込まれる場合は、適切な工期設定を行うと共に、施工中の工期遅延が生じる場合は必要な工期確保を行う

### ■ 今後の発注予定工事への影響

- ・ 適切な工事発注 最新の県単価及び市場単価、見積単価を採用するとともに、予算内での工事発注となるよう必要に応じて内容の見直しや調整を行う

## 現在工事中又は今後実施が見込まれる大型投資事業

- 大山コミュニティ防災センター改築事業（工期：令和4年7月～令和5年8月）
- 朝暘第5小学校改築事業（工期：令和4年10月～令和6年6月）
- 朝日庁舎・朝日分署改築事業（令和5年度発注予定）
- 加茂水族館改築事業（ // ）
- 荘内看護専門学校改築事業（ // ）